

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学の授業は、ほとんどがオンラインによるものとなりました。2021年度からは、多くの授業が従来の対面授業に戻る予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大は、予断を許さない状況です。新型コロナウイルスの感染拡大は、わたくしたちの生活を一変させ、物流にも大きな影響を与えています。そしてちょうど10年前の2011年には、東日本大震災が発生し、今回と同様、わたくしたちの生活に大きな影響を与え、物流のリスク対応の重要性を私たちに認識させることとなりました。

そこで、『物流問題研究70号(2021年春)』では「災害発生時、物流はどのように対応するか」を特集テーマといたしました。今回も、企業の方をお呼びして座談会を実施したほか、13本の論文を掲載いたしました。物流におけるリスク対応の考え方、緊急支援物資の供給、企業のリスク対応、さらに震災報道といった様々な視点から論じていただき、改めて物流、ロジスティクスにおける災害時対応の重要性、今後検討すべき論点が明らかになったと思います。

また、2018年度から本学が取り組んでいる文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」においては、座談会、研究会を定期的に開催しており、その概要についても掲載いたしました。

『物流問題研究』においては、新しいテーマに取り組み、今後も積極的に社会に発信していきたいと考えております。特集論文、一般論文について、奮って投稿していただきますようよろしくお願いいたします。

『物流問題研究』の内容はホームページ(<https://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/laboratory/>)にも掲載されています。

2021年3月 洪 京和

本誌に関する問い合わせ先  
logistics@rku.ac.jp

本号は、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」の一環として発行しています。

物流問題研究 No.70

ISSN 1346-2016

2021年3月28日発行

非売品

編集 洪 京和

発行 流通経済大学物流科学研究所  
〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市120  
電話 (0297) 64-0001 (代表)

制作 港洋社